

徳々

シルバー西条 第41号

安全第一で

過ごせていますか



定時総会開催

令和8年度定時総会が、6月18日に西条市総合文化会館にて開催されました。第一号議案 令和7年度事業報告、第2号議案 令和7年度収支決算・監査報告、第3号議案 公益社団法人西条市シルバ―人材センター定款の一部改正、第4号議案 役員選任について審議が行われ、すべて原案のとおり可決されました。



(写真左から) 理事長 國田 敦彦 様
西条市長 越智 三義 様
西条市議会議員 一色 輝雄 様
西条公共職業安定所長 満田 剛大 様

理事長挨拶

本日、ここに令和8年度定時総会を開催いたしましたところ、このように多数の会員の皆様にご出席いただき、心から感謝申し上げます。

また、ご来賓の皆様におかれましては、公務ご多忙中にもかかわらずご臨席を賜り、心から感謝申し上げますとともに、日頃から本センターの運営に格別なるご支援ご指導を賜り、厚く御礼を申し上げます。

本センターは統合から21年を経過し、遂次その趣旨を地域社会に浸透しつつ発展してまいりました。これもひとえに、この場にお集まりいただきました皆様をはじめ、多くの関係機関の方々のご協力とご支援があつてのものと深く感謝申し上げます。

社会全般に目を向けますと、少子高齢化のほか、人口や労働力の低下が問題となっている中で、働く意欲がある高齢者がいつまでも活躍できる「はたらく場」や「つどいの場」の環境を整備するため、



本センターでは、就業機会拡大や未就業対策、安全就業の推進、女性会員の相互交流に努めているところであります。

今後とも、組織の強化と効率的、効果的な運営に努め、一層の努力を傾注いたしますとともに、高齢者の生きがいの向上と、地域社会の健全な発展への貢献を目標に、皆様と共に力を合わせて、一步前進して参りたいと存じますので、会員の皆さまにおかれましても引き続き





左が伊藤重蔵さん、右が日野準一さんです、おめでとうございます。

愛媛県下の安全就業優良センターにおける個人表彰で会員2名が選ばれました。令和7年度愛媛県シルバー人材センター連合会安全就業大会（2月20日開催）で表彰されました。

愛媛県安全就業表彰

安全就業は「自分のために」



1. 元気に働き続けるために

センターでの仕事は、私たちにとって生活の支えであり、地域とのつながりです。働くことで生活に張りが生まれ、誰かの役に立てていることに喜びを感じます。

けれども、ひとたび事故が起こればそれらは一瞬で失われてしまいます。転倒による骨折、熱中症、機械によるケガ…どれも特別な作業だけで起こるものではありません。ほんの少しの油断や、「このくらいなら大丈夫だろう」という気持ちが、大きな事故につながる可能性があります。



ちょっとした油断が 事故につながる

- ▷ このくらいなら大丈夫
- ▷ 短時間だからいいだろう
- ▷ 迷惑をかけたくない
- ▷ 昔はできた

2. センターが安全を重視する理由

センターが安全就業を重視するのは、会員みなさんの働く喜びを守るためです。無理のない作業をお願いしたり、危険な作業を制限したり、体調の確認をお願いしたりするのは、決して“縛るためのルール”ではありません。みなさんが安心して働き続けられるようにするための「安全の土台」なのです。そして、最後に事故を防ぐのは会員みなさんの判断です。だからこそ、センターの安全方針は「守られるもの」ではなく、「自分を守るため」に使ってください。

3. 年齢とともに変化する身体の特徴

● 昔と同じように動けているつもりでも

年齢を重ねると、体の反応速度が少し遅くなったり、視野が狭くなったり、暑さや寒さに弱くなったりします。筋力や持久力も若い頃とは違います。「昔はできたから今回もできるはず」と思って行動すると、思わぬ危険につながる可能性があります。

● 気づきにくい“変化”が事故のきっかけに

こうした変化は、日常生活では気づきにくいものです。しかし、作業現場ではその小さな変化が事故のきっかけになることがあります。まずは「自分の体は確実に変化している」という事実を受け止めることが、安全への第一歩です。

4. 実際に起きている事故の傾向

● 特別な作業だけが危険ではない

センターで実際に起きている事故の多くは、特別な作業ではなく、日常的な作業の中で発生しています。誰にでも起こり得るものばかりです。

- ・ 脚立に上がる際に踏み外し転倒
- ・ 草刈作業中に石を跳ね車両等のガラスを破損
- ・ 清掃中に転倒



● 事故の背景にある“気持ち”

事故の背景には、「短時間だからいいだろう」「迷惑をかけたくない」「自分なら大丈夫」という気持ちが隠れていることが少なくありません。行動よりも“気持ち”が事故を呼び込むことがあります。

全国のセンターで多い事故

- ▷ 転倒・つまずき
- ▷ 熱中症
- ▷ 草刈り機・刃物のケガ
- ▷ 高所作業での落下
- ▷ 自転車・車両との接触

5. 今日からできる安全行動チェックリスト

- ☐ 少しでも体調が悪い日は無理をせず休む
- ☐ 作業前に軽く体をほぐすストレッチをする 転倒やケガの予防
- ☐ 暑さ・寒さへの対策 水分補給、休憩、服装の工夫など
- ☐ 危険を感じたら作業を止める 「おかしいな」「危ないかも」と感じたら、迷わず作業を止める。
- ☐ 仲間同士で声を掛け合う 現場全体の安全意識が高まります。

安全就業は、センターのためではありません。会員のみなさんのための選択です。



暑さとともに増える夏の事故に備えましょう

夏の暑さは、熱中症はもちろんのこと、暑さによる体力や注意力の低下により、事故が発生しやすくなります。夏に増える事故とその対策を今一度確認し、事故を未然に防ぎましょう。

熱中症

熱中症患者のおよそ半数は65歳以上の高齢者です。全国のシルバー人材センターでも熱中症による死亡事故が残念ながら発生しています。

●熱中症はなぜ起こる？

人は運動や仕事などで体を動かすと、体内で熱が作られて体温が上昇します。体温が上がった時は、汗をかくことや心拍数の上昇等によって体の表面から空気中に熱を逃がすことで体温の調整をしています。この体温調節がうまくできなくなると、体の中に熱が溜まって体温が上昇し、熱中症が引き起こされます。

夏のヒューマンエラー

他の季節なら正常に動くはずの判断力、注意力、集中力も、暑さによる体調不良により意識や警戒力が低下し、作業中の「スイッチを押したつもりが押していなかった」等の単純ミスや、「段差に気づかず転倒」、「聞き間違い、思い込み」も起きやすくなり、思わぬ事故につながります。

夏型交通事故

暑さによるぼんやり運転(漫然運転)や気の緩み、疲労による居眠り運転が増えることで、自分の走るべき車線から逸脱し対向車と正面衝突や、電柱などに衝突する単独事故が多く発生し、死亡や重症という重大事故に発展しやすい特徴があります。

また、夏場は梅雨や台風などの天候の急変や、夏休みシーズンの渋滞も事故に遭いやすい理由として挙げられます。夏型交通事故は、日差しが強く暑さや疲労が溜まりやすい、昼過ぎから午後3時頃までの時間帯が特に発生しやすいそうです。就業先への自転車、バイク、徒歩での移動の際も、交通安全には十分に注意しましょう。

これらの事故を防ぐ為には、日々の体調管理と、こまめな休息、水分・塩分補給を意識的に取ることが必要です。睡眠時はエアコンを使用するなどして十分に睡眠を取りましょう。



体調がすぐれない時は休む勇気を持つ！



一人で就業しない！共働共助！お互いを支えるワークスタイルへ！



自分の身体が最優先！健康あつての生きがい就業！

全シ協安全就業ニュース2025年7月号より引用

安全スローガンを募集します／

愛媛県シルバー人材センター連合会の令和8年度 安全就業スローガンに
あなたも投稿してみませんか？

令和7年度最優秀作

「思い込み 確認不足が 事故招く」

＜募集テーマ＞

安全意識の高揚・安全就業の実施を社会にアピールするもの

締切：9月18日 事務局まで

優秀作品は推進大会で表彰されます！

最優秀作品はのぼりにもなります！皆さんご応募ください(^ ^)

新年号の原稿を募集します／

表紙写真や川柳等々、事務局まで。お待ちしております♪





蜂刺され災害とその対策について



7月～10月はスズメバチやアシナガバチが活発に活動する時期で、**注意が必要です**

過去には蜂刺されによる死亡事故が発生しています。蜂がいそうな場所の作業では、作業前に蜂の生息状況を確認し、蜂の殺虫スプレーを常時携帯してください。また、服装は黒地を避け、皮膚の露出をできる限り控えて、ヘアスプレーや香水等の化粧品の匂いのあるものは避けましょう。

《症状》

蜂に刺された時の症状には、刺された場所の周りだけに現れる局所症状と、体内に出る全身症状とがある。で症状をよく観察し、直ちに緊急措置を行うこと。

【局所症状】

刺された箇所を中心に大きく赤い腫れかゆみが出る。

【全身症状】

刺された箇所だけでなく体中に症状があらわれる。
軽傷：顔や体が飲酒時のように赤くなる。かゆみ。

なんとなくだるい、苦しい。 ➡ **ポイント**

中傷：喉が詰まったような感じや胸苦しさをを感じる。

喉の渇き、腹痛、嘔吐、頭痛、めまい。

重症：意識がもうろうとする。さらに悪化すると、
痙攣、意識消失、血圧の低下がみられる。

アナフィラキシーショックを起こして死亡することがある。

《処置》

□刺された場所から速やかに離れる。

□毒針が残っていたら速やかに取り除き、
毒吸引器等で毒を絞り出す。

□冷水で患部を冷やし、毒が回るのを抑制する。

□赤く腫れ始めたら、抗ヒスタミン軟膏を塗る。

症状が悪化した場合

119番の連絡を行い、一刻も早く医師の手当てを受ける。

①安静に搬送する

②仰向けにしてベルトを緩め楽にする

③頭を低くし、吐き気がある場合は横向きにする。

※刺された直後に目立った症状がない場合も、処置をして安静にし、医師の診療をうけてください。**時間が経つにつれて悪化する場合があります。「なんとなくだるい、苦しい」という体のサインを見逃さず、甘く見ず、躊躇せず命と体調を優先してください。**



蜂だけではなく！マダニによる死亡事故も発生しました。

マダニは春から秋にかけて活発になりますが、冬でも活動しており、一年を通して注意が必要です。マダニに刺されることによって引き起こされる、「重症熱性血小板減少症候群(SFTS)」やリケッチアや細菌など病原体を保有するマダニに刺されることで感染する「日本紅斑熱」「ライム病」「回帰熱」などが主な病気です。いずれも、すべてのマダニが病原体を持っているわけではありませんが、命に関わる場合もあるので、刺されないための注意が必要です。

マダニに刺されないようにするために！

- ①長袖、長ズボンで肌を露出しない！
- ②草の上に直接座らない、脱いだ上着やタオルを不用意に地面や草の上に置かない！
- ③虫よけスプレーを活用する！

全シ協安全就業ニュース2025年7月号、2026月2月号より引用

虫よけトンボ 製作・販売中

会員の有志の方方で制作している虫よけトンボです。
オニヤンマは日本「最大」「最強」の肉食トンボ。
蜂やアブなどほかの昆虫にとっては、その姿があるだけで近寄ってこないほどの天敵です。
目立つところにつけると効果的です。

**注：必ず効くわけではありませんので、
蜂を見かけた時はすぐに避難してください**

蜂やアブに効果的！

火・木曜にセンターにて
トンボの制作をしています♪
都合の良い日だけで大丈夫です。
お喋りしながら楽しく過ごしませんか？
お待ちしております😊



★就業相談会のお知らせ

センターにはさまざまな仕事がありますが、ご自分が希望する仕事がない場合もあります。新たな分野の仕事にもチャレンジしてみませんか。積極的に就業相談会や講習会にも参加しましょう。

就業相談会：センター会議室にて受付順に個別で対応します。

受付時間 13時30分～15時30分(一人15分程度)

今後の予定 9月4日(金) 10月2日(金) 11月6日(金) 12月4日(金)

★一緒に働く仲間を増やしましょう。

一緒に働く仲間が増えれば、センターが引き受ける仕事の幅も広がり、新たな就業機会を開拓できます。ご近所の皆さんやお友達へお声掛けください。配偶者の方の紹介にも、「会員拡充報奨制度」をぜひご活用ください。

説明会はいずれも 午後1時30分からです

センター会議室(小松)での入会員説明会(毎月第2水曜日)

(西条)西条総合福祉センター 8月26日(水)、10月28日(水)

(東予)西部総合福祉センター 9月30日(水)、11月25日(水)

★ご注意ください!! 事務所を閉めます。

10月16日地方祭のため事務所を閉めます。

10月16日の西条地区 出張配布もお休みです。

10月は普及啓発促進月間です

地域ごとにボランティア清掃を行います。

時間等詳細は後日お知らせします。

参加をお願いします。



今年もみんなで
写真を撮るよ!
集合してね!

シルバー基本理念

自主・自立：シルバーを自分たちの力で育てます 共働・共助：互いに助け合いながら働きます

編集後記

残暑お見舞い申し上げます

今回、会報第41号の発行にあたり、関係者の皆様のご支援、ご協力に厚く御礼申し上げます。

テレビをつけると報じられる世界的な気候変動、不安定な世界情勢、止まらない物価高騰：

災害の被害に遭われた方々の苦難を思うと、胸が痛みます。とは言え「明日は我が身」という言葉がありますが、我々の身にも、いつ、何が起きるかわかりません。「今」を大切に過ごしてください。

まだまだ厳しい残暑が続くそうですが、「我が身を守るのは自分だけ。」健康、安全に気をつけて、元気に夏を乗り越えましょう。

次回は新年号の発行を予定しています。皆様の投稿を心よりお待ちしております。

編集委員一同

令和8年8月発行

公益社団法人 西条市シルバー人材センター

西条市小松町新屋敷甲496番地

(0898) 7613670